

本号から始まるTREND PRESS（トレンドプレス）は今、話題（トレンド）の福祉の情報を発信（プレスリリース）していくコーナーです。

## みえ介護コンテストで「会長賞」を受賞！

### 鈴鹿訪問介護ステーション

第6回みえ介護コンテストに当法人から参加した鈴鹿シルバーケア豊壽園の山本博道ブロックリーダーが「会長賞」を受賞いたしました。

このコンテストは三重介護福祉士会が主催し、県内の施設や学校から総勢33組がエントリーをし、技術を競い合うコンテストになり今年で6回目の開催になります。



ご利用者に寄り添う事業所での様子

審査はエントリー内からが選抜された優秀者10名が事前に専用サイトに掲載され、そのサイト内のweb投票が先行で行われました。

11月21日には津市のイオン津南ショッピングセンターで会場が設けられ、一般投票および審査が行われました。

審査員から山本ブロックリーダーへ「クローズドクエスチョンを使用し、失語症の方とのコミュニケーションに配慮できていた。」と好評価のコメントを頂きました。

受賞にあたって山本ブロックリーダーからは「今回、介護コンテストへ初出場させていただき、参加できただけで満足でしたが、会長賞を受賞でき、とても嬉しいです。賞に恥じないような人になりたいと思います。」との喜びの声がありました。

山本ブロックリーダーには更なるご活躍と法人のスタッフものちに続けられるよう技術向上に期待しています。

### 法人理念

- 1 当法人は、公器として地域社会に貢献する。
- 2 当法人は、事業を通じ安心と健康をモットーに、夢と希望を創造する。
- 3 当法人は、未来発展を目指し、人々の生活と社会の変化に常に誠意を持って前向きに取り組む。

### 社会福祉法人 洗心福祉会からの お知らせ

社会福祉法人洗心福祉会の令和3年度理事会が10月28日（木）に洗心福祉会本町総合事務所5階会議室にて開催されました。理事会では理事5名と監事2名が出席され、管理規程の一部を改正する規程等についてや令和3年度業務執行理事の職務執行状況報告などの議案及び報告書類について厳正に審査され、それぞれ原案どおりに可決されました。概要については、社会福祉法人洗心福祉会本町総合事務所3階ロビー掲示板に掲示を、またその内容については膨大なため、同事務所総務課にて閲覧が出来ますので、担当職員までお申出下さい。

洗心



未来をつくる  
自分たちのちからで

- p2. 明日への「期待」
- p3. 生活リハの魅力
- p4. 元気いっぱい運動会！
- p5. 楽しかった！スタンプラリー！
- p6. 祝 百寿 白寿 米寿
- p7. 今、輝いているあなたにクリック
- p8. TREND PRESS（トレンドプレス）

# 明日への「期待」

社会福祉法人洗心福祉会  
常務理事 水野 才華

新年あけましておめでとうございます。平素より皆様には社会福祉法人洗心福祉会の事業運営にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、皆様方にとって良い年が迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、私たちを取り巻く法制度において、介護保険法と障害者総合支援法が同時に改正され、様々な見直しや枠組みが創設されました。それぞれ全体の介護報酬はプラス改定となり、昨今の自然災害や感染症への対策強化の観点から、多くの取り組みが各サービスの運営基準の中に新たに盛り込まれることになりました。また介護保険制度においては、「科学的介護の実践」に向か、根拠に基づく介護の実現を目的としたデータバンク『LIFE（科学的介護情報システム）』の活用が全面に制度化され、それら取り組みに係る多くの加算も新設されています。

これらの見直しや新たな取り組みについては、私たちも基準として適正に遵守する一方、国の施策であり方針でもある『LIFE』などは、積極的に取り組むべきものとして強く認識しています。

一方で、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活そのものに大きな影響を与え、感染症対策はもちろんのこと、様々な行動制限を強いられるようになりました。

私たちが運営する各事業においても感染症の発生防止や蔓延阻止などにより、これまで日常的に行われていた各種イベントの中止又は縮小、特に入所施設においては面会制限の徹底など、様々な制約のもとでの事業運営でした。

そのような中でも、リモート面会など創意工夫しながら取り組んできましたが、ご利用者やご家族はもちろん、日頃から支援させていただく私たちも決して満足できるものではありません。

外出行事の自粛やイベントの中止により、多くの制約や制限の中での生活となり、またそうせざるを得ない現状を目の当たりに、私たちは懸命に日々支援を続けております。入所施設だけでなく、保育や介護、障がいにおける各サービスにおいても、常に緊張感と隣り合わせの中、現在に至るまで、そして「今日」も全力での支援を続けています。

コロナワクチンの普及等により、そんな感染症も終息に近づきつつあります。そしてその動きが、面会制限の緩和等の実施に少しずつ繋がりつつあります。しかしながら、まだまだ安心できない状況には変わりありません。

この状況が終息し、これまでの平常の事業運営が実現できるその日を、まずは切に願いつつ、これからも安心・安全な事業運営に尽力していきたいと考えています。



ふたみ通所リハビリセンターシルバーケア豊壽園

## 生活リハの魅力 生活に直結したリハビリを！

ふたみ通所リハビリセンターは、ご利用者お一人おひとりの生活の中で「〇〇したい!」「〇〇を続けたい!」など様々な想いに対して、『その方のご自宅での生活を意識し、その生活に直結したリハビリを行い、その目標や希望につなげていく』ということを信念とし、医師・リハビリ専門職・介護職員など様々な職種の職員が協働しながらサービスを提供させていただいている。

リハビリと一口で言っても、その

関わり方は千差万別、ご利用者の数だけアプローチの方法があると言っても過言ではありません。様々なニーズに答えるべく専門職による事前の自宅訪問も行い、実際の生活空間のなかでのコミュニケーションを通じ、ご利用者の「したい」「続けたい」を直接感じ、把握します。そして、その内容や想いをなるべく自宅と同じ環境を想定したなかでのリハビリへつなげていきます。

ご利用者の「したい」「続けたい」

という願いに寄り添うことは、リハビリに限らず、介護や福祉というお仕事の基本ともいえる考え方です。

『住み慣れた自宅でいつまでも自分らしく暮らしたい』という願いに応えていくことが、私たちの役割であり、また魅力であると思います。これは、介護保険制度の『自立支援』の理念に通じる考え方の実践であると考えています。



## 元気いっぱい 運動会！

子どもたちが楽しみにしていた運動会。今年度は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令されたため、当初予定していた日程を変更し行いましたが、子どもたちや保護者、職員の願いが届いたのか、当日はいいお天気に！

ゴールを目指して走ったかけっこ、みんなでバトンをつなぎだりレー、元気いっぱい踊ったお遊戯、心を一つにみんなで力を合わせたよさこい…始まる前はドキドキしていた子どもたちも最後には「楽しかった！」「元気にできたよ！」と運動会を通して、ひとり大きくなれた子どもたちです。



## 楽しかった！ スタンプラリー！

嬉野保育園では、秋に探索ごっことしてスタンプラリーを楽しんでいます。各クラスのイラストが描かれた旗を持った担任について4か所のポイントをめざします。

元気いっぱい、「レッツゴー」と掛け声を合わせ、いざ出発!!

スタンプを押してもらうと、「ありがとう」と素敵な言葉が聞こえてきます。

全部集めたらお楽しみのプレゼント。みんなでおやつをいただきます！

いつもの園庭が、この日は特別の場所のようで、またひとつ思い出となりました。



祝

# 百米寿

昨年めでたく節目を迎えられました。  
心よりお祝い申し上げます。

※敬称略

## 100歳以上・百寿100歳

津介護老人保健施設	久居居宅介護支援センター	阿児短期入所生活介護センター	養護老人ホーム偕楽荘
小林 ふさ江 青山 月子 木村 敏江 須川 茂子	植村 さだゑ 白塚通所介護センター 木村 敏恵 別府 律子	名古 富美子 阿児第2通所介護センター 宮浦 富代 中村 芳子	山出 花子 伊賀通所介護センター 筒井 為稚子
ケアハウス	ふたみ介護老人保健施設	浜島地域密着型ケアセンター	伊賀居宅介護支援センター
富田 清志	濱千代 致賀子 敷木 はる	坂森 文平 羽尻 久治	
津第1通所介護センター	伊賀特別養護老人ホーム	鈴鹿通所介護センター	
須川 てる 鈴木 フミエ	志摩特別養護老人ホーム	北川 志ゆう	
新高茶屋通所介護センター	森内 芳子 稲岡 あゑ子 滝 美千 沖島 タズ	甲賀短期入所生活介護センター	
上野 ひで子 山際 康章	立岡 キク		
西畠 みよ			

## 白寿99歳

津介護老人保健施設	津第2通所介護センター	久居居宅介護支援センター	ふたみ居宅介護支援センター	志摩特別養護老人ホーム	阿児第2通所介護センター
渡邊 宮子 土井 敏子	長谷川 品枝	北田 清	藤野 ツマエ	小橋 五月 中村 美代子 前田 よ志 池内 やゑ	晝川 きくの 伊賀特別養護老人ホーム 豊岡 ちよ
ケアハウス	津中部南地域包括支援センター	新高茶屋通所介護センター	ふたみ訪問介護ステーション		甲賀短期入所生活介護センター
古屋敷 親吾	古屋敷 親吾	石丸 たか 谷口 かずへ	永井 純み		中村 いと
松本 たか					

## 米寿88歳

津特別養護老人ホーム	津通所リハビリセンター	津中央ヘルバーステーション	ふたみ居宅介護支援センター	阿児居宅介護支援センター	鈴鹿居宅介護支援センター
青木 美智子 井上 員枝 今川 シデ子	木村 健 近藤 静子 下村 亨 田中 守 中島 春子	中根 たみ子 落合 小代子	竹内 民子 田畠 一道 中川 周一	森岡 信義 中村 瞳彦	飯田 京 川上 一 橋川 のぶ子 三井 文子
津介護老人保健施設	津中部南地域包括支援センター	本町福祉用具	ふたみ通所リハビリセンター	阿児訪問介護ステーション	伊賀特別養護老人ホーム
宮原 史子 小林 久代 石野 定子 小田 仁子 宮本 徹 向井 譲子 工藤 祐次郎 小久保 千恵 関 タケ	木下 一子	笠井 俊知 本下 一子 前田 忠治 横田 雅恵 山田 恵子	竜田 美恵子 中村 さゆ 西村 富左子 藤井 きく	小堀 多鶴代	青山 好順 池田 まさ子 丹羽 文子 杉野 敦子 野呂 豊子 増村 かづ 宮本 純夫
高茶屋居宅介護支援センター	新高茶屋通所介護センター	白塚居宅介護支援センター	ふたみ訪問介護ステーション	伊賀認知症対応型グループホーム	甲賀特別養護老人ホーム
東郷 咲代 小川 得子	後藤 節子 中山 千代子 西端 公子 服部 正	加藤 春一 西尾 喜代子 新井 幸子 江藤 光尚 平野 政子 松井 千恵子 上永 治美 橋本 清子 阪 幸子 乙部 次男	上村 敏夫 西田 つや 西田 益昌 山中 隆雄	志摩特別養護老人ホーム	和田 茂代
ケアハウス	久居居宅介護支援センター	志摩特別養護老人ホーム	小堀 喜代久 北村 憐子 山下 イワ子 箕浦 じょう	藤森 富士子	甲賀短期入所生活介護センター
富森 良子	板崎 みち子 大平 菫子 奥田 一秋 吉田 小夜子 三谷 きぬ子	大西 ちさ 中村 キクエ 平子 豊子 三浦 英子	葛原 千恵 清水 ツヤ子	養護老人ホーム偕楽荘	西村 薫 橋本 峯夫 村木 礎一
津第1通所介護センター	久居訪問介護ステーション	白塚通所介護センター	阿児地域密着型ケアセンター	伊賀居宅介護支援センター	伊賀短期入所生活介護センター
天野 貴美子 大田 さよ子 太田 十三 奥山 紀二 藤塚 郁子	内田 克明	大西 利子 谷口 瑞子 仁科 美子	中森 和江 服部 和子 増田 美代子 宮田 愛子	井上 稔 立岡 正嗣 山本 とよ 倉田 鹿春 福本 千代 森地 重和 林 定子	甲賀居宅介護支援センター
津第2通所介護センター	美杉小規模多機能型居宅介護施設	信藤 タツ子	大西 喜角 川口 まち子 森下 喜代子 早川 宏 堀木 定夫	武岡 榮子 西本 三重子 福森 智恵子 宮田 登美	伊賀通所介護センター
宇陀 豊子 兼平 昭子 河邊 久子 喜多 早百合 栗本 敦子 洲崎 すゑ子 丸山 峰子 近藤 貢 森 美代子	白山小規模多機能型居宅介護施設	前川 美智子 平田 幸子	田畠 こみ志 濱野 美代子 大西 喜角 酒徳 圭一 安立 宗幸 堀木 定夫	井上 義則 岸 嘉行 平子 米明 西澤 洪子 早川 喜久子 岩室 ヨシエ	鈴鹿訪問介護ステーション
高茶屋居宅介護支援センター	第二美杉小規模多機能型居宅介護施設	石橋 賀江 谷口 みさ 富田 史子	ふたみ介護老人保健施設	伊賀短期入所生活介護センター	甲賀通所介護センター



## 編集

今回の「あなたにクリック」は、地域総合ケアセンターシルバーケア豊壽園内にあります、通所3事業のスタッフの皆さんです。津通所リハビリセンター・長谷川裕美上級リーダー。津通所リハビリセンター理学療法士・林安悠美ブロックリーダー。第1通所介護センター・大川恭平リーダー。第2通所介護センター・若林達治リーダー4名です。

## 全員

よろしくお願いします。

## 編集

地域総合ケアセンターでされているお仕事を含めどれくらい勤務されているのですか?

## 長谷川

パート職員から入社して今年で20年目になりました。

## 林

入社して丸12年。津通所リハビリセンターに配属されて3年目になります。

## 大川

2010年からお世話になっていまして。今年で11年目になります。

## 若林

入社したのは、2003年2月1日。18年目になります。

## 編集

当法人の職員になられてから印象深かった事柄はありますか?

## 長谷川

あります。当法人に入職したものの、何も分からずバタバタでした。そんな中、丁寧に教えてくださった先輩です。本当に今でも感謝しています。

## 林

入社1年目の時です。県外から来た私は、方言の違いにカルチャーショックを受けた事が印象深かったです。

## 大川

伊賀総合ケアセンターシルバーケア豊壽園の立ち上げです。私は通所介護センターに配属されたのですが、オープニングを経験させて頂いたことは私の大きな財産です。新たにご利用者をお出迎えするにあたり物品等を一から用意した事など鮮明に覚えています。

## 若林

以前配置されていた通所介護センターでは、外出行事が充実していました。「大人の社会見学」県庁やゴミ処理施設・酒蔵を巡ったのが印象的でした。

## 編集

ご利用者と関わる中で信念や大切にしている事はありますか?

## 長谷川

コミュニケーションを大切にしております。相手の話を耳を傾け、不安や緊張が少しでも和らぐように。安心を持っていただける様なコミュニケーションを心掛けています。

## 林

基本的な事ですが、ご利用者の目線に合わせて話を聞く事です。

## 大川

常にご利用者の立場になって物事を考えることです。

## 若林

ご利用者ひとり一人の気持ちに寄り添い、笑顔で接するように心掛けています。

## 編集

大川リーダー・若林リーダーにお伺いします。第1通所介護センター・第2通所介護センターで力を入れている取り組みはありますか?

## 大川

個別に行う機能訓練(のんびりウォーク)です。気になる方は是非、第1通所までお越し下さい。

## 若林

「静(頭の健康へのアプローチ)」と「動(心身の健康へのアプローチ)」をコンセプトに「自発的に選択できるサービス」。また、ヨガのインストラクター・ハンドトリートメントアドバイザーの資格を持った職員が中心となりサービスを提供しています。

## 編集

次に、津通所リハビリセンターの長谷川上級リーダー・林ブロックリーダーにお伺いします。津通所リハビリセンターで力を入れている取り組みはありますか?

## 長谷川

リハビリメニュー以外で、自主トレーニングをご提供させて頂いています。ご利用者自ら積極的に取り組めるようにしています。

## 編集

お忙しい中、貴重なお話しを聞かせてくださいありがとうございました。これからもよろしくお願ひいたします。